

令和5年度

事業報告

社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会

(1101)法人運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	法人運営事業	法人運営全般	第1層(全市)
収入(円)	会費	寄附金	事業収入	負担金収入	受取利息
	3,281,500	194,888		97,100	453
	雑収入	拠点区分収入	階層区分収入	前期末資金残	計
	125,505	5,538,081	967,526	2,229,428	12,434,481
支出(円)	人件費	事業費	事務費	その他支出	固定資産
	9,369,210	1,560,669	448,895		599,577
	サービス区分間支出	退職積立			計
	1,566	454,564			12,434,481
事業概要	予算・決算・補正予算の決議、法人運営				
事業報告	①毎月収支報告書の提出 ②事業収入の安定化 ③事業経営の透明性の確保				
	理事会	日・出席人数	内容	日・出席人数	内容
		6月6日	令和4年度決算・事業報告、財産目録	11月28日	令和5年度補正予算(第2次)
		理事12・監事2		理事10・監事2	
		6月21日	会長選出		
		理事11・監事2			
	9月12日	令和5年度補正予算(第1次)	3月12日	補正予算、令和6年度予算、事業計画、経理規程の一部改正	
	理事11・監事2	理事12・監事2			
	評議員会	日・出席人数	内容	日・出席人数	内容
		6月21日	令和4年度決算・事業報告、財産目録	12月8日	令和5年度補正予算(第2次)・理事承認
		評議員20 理事11・監事2		評議員17 理事4	
		9月25日	令和5年度補正予算(第1次)	3月26日	令和5年度補正予算(第3次)・令和6年度予算
評議員20 理事4		評議員22 理事5			
内部監査:5月24日(決算監査) 11月17日(中間監査) 役職員研修:サマーセミナー 12月22日 災害支援について					
R5振り返り	コロナ感染症が第5類になり、地域活動も活発になった。				

(1102)退職積立金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	退職積立金事業	退職積立金事業	第1層(全市)
収入(円)	各階層より	取崩し収入	積立基金預け金差益		計
	4,444,020	9,643,380	2,138,740		16,226,140
支出(円)	退職給付支出	退職手当差損	退職給付預け金		計
	11,623,810	158,310	4,444,020		16,226,140
事業概要	全国社会福祉協議会が運営する退職積立基金事業と契約加入し、退職金として積み立てている				
事業報告	全社協へ、退職金掛金を納付 総額 4,444,020円 退職給付積立基金預け金 54,803,290円 退職給付引当金 69,284,830円 2名退職				
R5振り返り	2名退職あり、退職給付を行った。うち1名については、再雇用となる。				

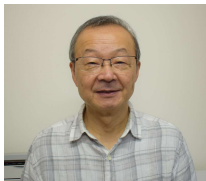
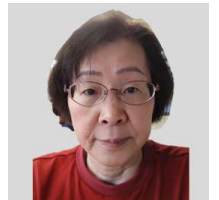
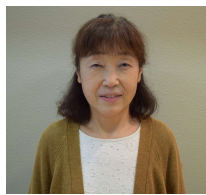
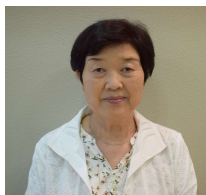
(1103)社会福祉事業基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	社会福祉事業基金運営事業	社会福祉事業基金運営	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	受取利息	前期末資金残		計
	19,482	3,431	926,658		949,571
支出(円)	社・基金積立金	法人運営事業へ			計
	19,482	930,089			949,571
事業概要	社会福祉事業寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業報告	社会福祉事業基金 受入れ 4件 19,482 円 合計 202,956,845円				
R5振り返り	定期預金にて基金を管理しているが、利息が低く事業に活用できる状況ではない。基金の検討委員会は今年度も開催することができなかったため、次年度に引き継ぐこととする				

(1104)ボランティア基金運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	法人運営事業	ボランティア基金運営事業	ボランティア基金運営	第1層(全市)
収入(円)	受取利息	前期末資金残			計
	4,423	33,014			37,437
支出(円)	法人運営事業へ				計
	37,437				37,437
事業概要	ボランティア基金寄附金の受け入れ、基金の管理・運用				
事業報告	ボランティア基金 受入れ 0件 0円 合計 8,725,201円				
R5振り返り	現在寄附金は、ボランティア基金ではなく、社会福祉事業基金での受け入れを優先している				

(1201)地区社協活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市補助金				計
	4,620,000				4,620,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	154,000	51,000	4,415,000		4,620,000
事業概要	住み慣れた地域でいつまでも暮らすことを目的に、小地域での身近な福祉活動拠点としての役割を持ち、きめ細かな福祉を展開する				
事業報告	・地区社協コーディネーター会議 年間12回実施			コーディネーター紹介(敬称略)	
	コーディネーター会議の地区持ち回り制を導入				
	開催日	開催担当地区	開催場所		
	4月3日	市社協	すこやかホール		
	5月1日	北郷	木下家		
	6月5日	鹿谷	そら		
	7月3日	荒土	コーディネーター宅		
	8月7日	野向	あまごの宿		
	9月4日	遅羽	縄文の里		
	10月2日	勝山	谷よし		
	11月6日	平泉寺	まちづくり会館		
	12月4日	北谷	コミュニティセンター		
	1月9日	猪野瀬	まちづくり会館		
	2月5日	村岡	まちづくり会館		
	3月4日	市社協	すこやかホール		
					
				勝山:阿部	勝山:大道
					
				北谷:石井	遅羽:牧野
					
				猪野瀬:水谷	村岡:花田
					
	平泉寺:大林			荒土:谷口	北郷:松川
					
				野向:滝本	鹿谷:宇佐美
	・地区社協会長会 2回実施 (4/27、3/4 すこやか多目的ホール)				
・地域個別支援 ※地域課題への対応や研修、企画の相談等随時					
R5振り返り	地域個別支援では、各地域の事情や環境に合わせて研修会等の企画、運営支援や、地域での困りごと対応、また、地域課題への対応等もコーディネータと共に考え、事業を行った。地域課題は様々で、必ずしも横並びにならないことの共通認識、共通理解を個別支援やコーディネーター会議を通して共有することができた。今年度は2人が新たにコーディネーターに加わっていただき、他コーディネーターと市社協とで支援しながら活動の後押しができた。				

(1202)給食サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																																							
	法人運営事業	地域福祉推進事業	給食サービス事業	給食サービス	第3層(地区社協)																																																							
収入(円)	市受託金	利用者負担金			計																																																							
	2,981,790	1,183,250			4,165,040																																																							
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計																																																							
	550,000	775,240	2,839,800		4,165,040																																																							
事業概要	65歳以上の①一人暮らし②高齢者のみの世帯③高齢者と障害者のみの世帯で調理が困難で見守りが必要な人に対し、各地区社協ごとに給食サービスを提供する																																																											
事業報告	<table><tr><td>地区</td><td>勝山</td><td>猪野瀬</td><td>平泉寺</td><td>村岡</td><td>野向</td><td>荒土</td><td>北郷</td><td>遅羽</td><td>鹿谷</td><td>北谷</td><td>合計</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>133</td><td>8</td><td>11</td><td>33</td><td>23</td><td>12</td><td>4</td><td>4</td><td>11</td><td>5</td><td>244</td></tr><tr><td>回数</td><td>45</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>22</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>16</td><td>251</td></tr><tr><td>食数</td><td>2,662</td><td>165</td><td>246</td><td>707</td><td>354</td><td>170</td><td>87</td><td>87</td><td>210</td><td>45</td><td>4,733</td></tr></table>												地区	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	野向	荒土	北郷	遅羽	鹿谷	北谷	合計	登録者数	133	8	11	33	23	12	4	4	11	5	244	回数	45	24	24	24	22	24	24	24	24	16	251	食数	2,662	165	246	707	354	170	87	87	210	45	4,733
	地区	勝山	猪野瀬	平泉寺	村岡	野向	荒土	北郷	遅羽	鹿谷	北谷	合計																																																
	登録者数	133	8	11	33	23	12	4	4	11	5	244																																																
	回数	45	24	24	24	22	24	24	24	24	16	251																																																
	食数	2,662	165	246	707	354	170	87	87	210	45	4,733																																																
	・合計4,733食の配食を行った。弁当を配達することにより安否確認を行った。																																																											
[手作り弁当再開に向けての動き]																																																												
・6/3「給食サービス関係者衛生講習会」開催 55名参加																																																												
・地域によっては、業者弁当を選択した地域もあった。																																																												
R5振り返り	・2/8遅羽地区社協にて給食サービス利用について民生委員や調理ボランティアに説明																																																											
	新型コロナウイルスの5類移行に伴い、業者弁当で対応していた地域は手作り弁当を復活した。利用が増えることは喜ばしいが、調理ボランティアの確保が困難という課題を持った地域もある。 給食サービス利用の条件について、民生委員や調理ボランティアで解釈が曖昧な地域があり、説明会を行ったことで、共通理解が図れ、利用者増にもつながった。																																																											

(1204)地域福祉救済活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																														
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉救済活動事業	福祉救済活動事業	第1層(全市)																														
収入(円)	県共募補助金	共同募金	前期末資金残																																
	219,687	45,000	62,797																																
					計																														
					327,484																														
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産費	当期資金収支差額																														
		250,884	76,600																																
					計																														
					327,484																														
事業概要	災害に備えた物資の準備並びに研修への参加。また、災害発生時は災害対応のための資金調達や災害ボランティアセンターの立上げ・運営、さらには職員を現地に派遣する等を行う																																		
事業報告	●勝山市災害ボランティアセンター連絡会 ・勝山市災害ボランティアセンター連絡会(9/22) ●研修会の開催 ・地区社協からの要望に応じて、福井県防災士会講師に依頼し、研修を行った ・勝山市、地域防災組織連絡会と共同で日野ボランティアネットワーク代表に講師を依頼し、防災セミナーを開催した(12/22) ●被災地派遣:石川県輪島市(1名:1/18~1/24) ●越前市民生委員児童委員協議会へ令和4.5年の災害ボランティアセンター開設報告(9/29) ●福井県社会福祉協議会 令和6年能登半島地震に関する市町社協説明会(1/12) ●令和5年7月豪雨 被災(7/13) 7/13 勝山市災害対策本部会議に参画、災害ボランティアセンター設置要請を受ける。 7/14 災害ボランティアセンター開設準備(ニーズ整理、備品整備、会場レイアウト作成) 7/15~ 災害ボランティアセンター開設 7/17 災害ボランティアセンター閉所 閉所後は通常のボランティアセンターで対応 * 災害ボランティアセンター設置に伴い、県共同募金会より活動拠点支援金の助成を受ける。 9/22 勝山市災害ボランティアセンター連絡会にて振り返り <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th><th>日</th><th>曜日</th><th>ボランティア活動延べ人数</th><th>ニーズ件数</th><th>依頼内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td><td>15</td><td>土</td><td>83</td><td>10</td><td>泥だし、ゴミ出し</td></tr> <tr> <td>7</td><td>16</td><td>日</td><td>53</td><td>5</td><td>泥だし</td></tr> <tr> <td>7</td><td>17</td><td>月(祝日)</td><td>26</td><td>2</td><td>泥だし</td></tr> <tr> <td colspan="3">合計</td><td>162</td><td>17</td><td></td></tr> </tbody> </table> ●「災害時における相互協力に関する協定締結」 ・勝山ライオンズクラブ、勝山市、勝山市社会福祉協議会と「災害時における相互協力に関する協定」の締結(毎年自動更新) ・勝山青年会議所(JC)、勝山市、勝山市社会福祉協議会と「災害時における相互協力に関する協定」の締結(毎年自動更新)					月	日	曜日	ボランティア活動延べ人数	ニーズ件数	依頼内容	7	15	土	83	10	泥だし、ゴミ出し	7	16	日	53	5	泥だし	7	17	月(祝日)	26	2	泥だし	合計			162	17	
月	日	曜日	ボランティア活動延べ人数	ニーズ件数	依頼内容																														
7	15	土	83	10	泥だし、ゴミ出し																														
7	16	日	53	5	泥だし																														
7	17	月(祝日)	26	2	泥だし																														
合計			162	17																															
R5振り返り	令和4年度に続き、今年度も夏季に豪雨水害が発生した。令和4年度の経験から、市との連携、災害ボランティアセンター開設までの準備、センターの運営等スムーズに行えた。運営に関しては、県防災士会、青年会議所、ライオンズクラブ、郵便局長会、ボランティアセンターなど連絡会構成団体や市町社協から協力をいただいた。開設後の振り返りでは、市・社協・区長・民生委員児童委員など互いの役割が不明確であったり互いの認識不足が課題とわかり、12/22に関係者が一堂に集まるセミナーを開催した。今後も互いの役割理解は必要と考える。																																		

(1206)住民参加型在宅福祉サービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	住民参加型在宅福祉サービス	住民参加型在宅福祉サービス和美さん	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	前期末資金残			計
	27,000	5,467			32,467
支出(円)	事業費	当期末支払資金残			計
	32,467				32,467
事業概要	住民の相互扶助を推進することを目的に、サービスを有料制で行い、在宅福祉の増進を図る				
実績報告	協力会員	1人	派遣延件数	28件	
	利用会員	1人	実働時間	28時間(送迎)	
R5振り返り	障害児福祉サービスへの送迎依頼が主な中身であった。 介護保険制度に至らない方の家事依頼等の問い合わせがあるが、協力会員不足により希望に添えない。				

(1207)地域ふれあいサロン事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	地域ふれあいサロン事業	地域ふれあいサロン事業	第3層(地区社協)
収入(円)	市受託金				計
	4,540,000				4,540,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金	返還金	計
	450,000	316,000	3,444,000	330,000	4,540,000
事業概要	高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に集まれる場所の提供				
事業報告	各地区サロン実績				
		地区名	R5年回数(内補助金なし)	高齢者数(人)	R4年回数(内補助金なし)
	★	勝山	130回(8)	2,817	107回(1)
		猪野瀬	53回	1,109	55回(1)
	★	平泉寺	33回(2)	558	34回(5)
		遅羽	73回	557	73回
		村岡	89回	1,605	81回
		北谷	5回	11	1回
		野向	38回	469	32回
		荒土	86回	976	72回
		北郷	117回	1,201	108回
		鹿谷	38回	525	26回
		助成金なし	12回	602	30回
		合計	674回	10,430	619回
	・★は助成金なしのサロンを実施した地区 ・口腔ケア講座、レクリエーション講座(謝金は市社協負担)を各地区1回ずつ開催				
R5振り返り	新型コロナウイルスの影響で縮小していた活動が、新型コロナウイルス5類移行に伴い、活動再開してきた地域が増えた。 地区社協コーディネーターと市社協とで講師調整やサロン内容企画相談等で活動増や継続の後押しを行った。				

(1208)日常生活自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金	利用料収入	貸金庫利用料	前期末資金残	計
	8,107,000	1,221,000	9,000	129,006	9,466,006
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金
	8,382,026	388,680	94,300	0	601,000
					計
					9,466,006
事業概要	自立して地域で生活が送れるよう、福祉サービス利用、日常的な金銭管理などを支援				
事業報告	●相談件数等 ・相談件数 延1626件 (R4 890件) ・契約件数 19件[認知症等14件、知的4件、その他1件] (R4 5件) ・成年後見制度への移行数 0件(R4 2件) ・総契約数 89件[認知症等40件、知的29件、精神7件、その他13件] (R4 78件) ●広報・啓発事業 ・社協からこんにちは(広報紙)に事業説明を掲載 勝山市内全戸(8,000部) ●生活支援員研修会 ・令和5年度福祉サービス利用援助事業 生活支援員研修会 令和6年3月27日(水) すこやか・8名【オンデマンド動画講座】 後日、アーカイブ配信の視聴・7名 「共感力を高めてより良いコミュニケーションを」 オフィス・マインドルージュ 代表 藤田 由美子 氏 ●関係機関との連携 ・奥越地域生活保護受給者等就労自立促進事業 大野公共職業安定所 ・若者等支援機関地域ネットワーク会議 結とびあ ・奥越地区障害者自立支援協議会 発達障害・教育部会 すこやか ・障害者自立支援協議会相談支援連絡会 すこやか ・利用者別会議、モニタリング参加				
R5振り返り	一人暮らしで地域の関わりが薄く孤立して生活をしている人が増加している為、必要な福祉サービスを利用できていない人が多いと感じた。 自分で将来を見据えた生活(収支計画等)の理解が難しく、将来的に地域での生活が難しくなる可能性がある利用者に、今のうちから備えていけるように支援していく必要性を感じた。 判断能力がなくなった場合は、関係機関と連携をとり本人にふさわしいサービス(成年後見制度等)につなぐ必要を感じた。 独居や家族関係の希薄により、家族や親族を頼ることができない方が多くなっており、サービスを越えた地域支え合いの仕組みづくりや関係機関との連携が必要と感じた。				



(1209)福祉総合相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	福祉総合相談事業	福祉総合相談事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,500,000				1,500,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	300,000	1,200,000			1,500,000
事業概要	法律、労働、年金の専門相談を実施。一般相談は職員が随時対応し、専門機関につなげる				
事業報告	●年金労務相談11件(前年度 11件) 【毎月第1水曜日9:00～13:00 年間12回開催】				
	●法律相談99件(前年度 105件) 【毎月第2水曜日(13:30～16:30)第4水曜日(9:00～13:00) 年間24回開催】				
	●心配ごと相談8件(前年度 21件) 【月～金曜日平時の相談については職員が対応】				
	●夜間相談0件(前年度 0件) 【毎週水曜日18:00～20:00(要予約)】				
R5振り返り	心配ごと相談は常時職員が対応した。生活や家族などの多問題相談が多く見られた。また、何度も相談される方もいた。				

(1211)家族介護支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	家族介護支援事業	家族介護支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	前期末資金残			計
	5,400	16,600			22,000
支出(円)	人件費				計
	22,000				22,000
事業概要	介護の専門家を対象家庭に派遣し、介護の方法の指導や相談を行う				
事業報告	●依頼回数2回 ●内容 移動介助、室温調整、食事作り、排せつ介助、食事介助方法、着替え、ベッドの高さの ことについて(食事介助の際の高さ、姿勢、また体位を整えることを伝える)腰痛予 防の介護の方法について				
R5振り返り	利用できるサービスのことがわからずに家族内で、困っている様子があり、この事業 を利用し、訪問介護の受け入れがよくなり、サービスの利用につながったケースもあつ た。				

(1212)訪問型サービスA事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	地域福祉推進事業	訪問型サービスA事業	訪問型サービスA事業	第1層(全市)
収入(円)	介護保険事業	利用料	前期末資金残		計
	55,998	6,222	252		62,472
支出(円)	人件費	事業費			計
	40,386	22,086			62,472
事業概要	介護認定の対象とならないが、勝山市が家事の一部援助が必要と認めた方への必要な家事支援				
事業報告	軽度な家事援助(買い物・掃除)を訪問介護員が行った				
		令和5年度	令和4年度	令和3年度	
	利用延べ人数	12名	12名	14名	
	述べ訪問回数	51回	51回	57回	
R5振り返り	コロナ感染症が第5類になったが、引き続き感染症予防に努めながら訪問を行った。				

(1301)ボランティアセンター運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター事業	第1層(全市)
収入(円)	チャリティー映画収入	受取利息	雑収入		計
	233,773	22	10,362		244,157
支出(円)	事業費	当期資金収支差額			計
	109,238	134,919			244,157
事業概要	ボランティアセンター運営委員会の運営。企画・広報部会の開催。ボランティア活動団体、個人を活動先とマッチングする。依頼・活動相談、保険の窓口となる。また、ボランティア育成のための研修を実施する。収集活動。				
事業報告	●ボランティアセンター運営委員会 6回(内、全体会3回、企画部会1回、広報部会2回) 【主な活動内容:福祉学習交流会、ボランティア研修会、ボランティア団体交流会、チャリティー映画会、すこやかフェスタ出店、年の市出店】 ●勝山ボランティアセンター広報活動 ①コドンストラップ【500個作成、残289個】 1コ1,000円で販売 ②コドンクリアファイル【3000枚作成、残1116枚】1枚100円で販売 ③コドンLINEスタンプ【1セット(40個)】120円で販売 ④コドンスタンプ作成(6種類)各小中学校にも活用してもらう ⑤コドンシール【5000枚作成、残3797枚】2枚1組100円で販売 ⑥コドン付箋【1000個作成、残447個】100円で販売 ・コドンかぶりもの作成 ・市民啓発推進事業 年6回「社協からこんにちは」紙上に情報掲載       ●ボランティア活動保険加入者 【基本プラン 350円】808名【天災プラン 500円】9名【感染症プラン 550円】113名 合計930名 ●ボランティア相談・依頼 53件(内容:ゴミ出しボランティア依頼・調整、ボランティア団体活動調整、福祉避難所ボランティア依頼・調整・派遣等) ●ボランティア研修会(19ページに掲載) ●ボランティア団体交流会(19ページに掲載) ●収集活動 [エコキャップ]福井テレビへ運搬 年5回 運搬数約442,000個(ワクチン約514人分) [使用済みカラープリンターインク]買い取り業者へ輸送した [ベルマーク]ベルマークを収集している学校へ寄贈した [使用済み切手、使用済みテレホンカード、未使用文房具]市社協窓口で回収し、誕生日ありがとう運動本部へ輸送した ●第38回チャリティー映画会「桜色の風が咲く」3/9上映 <入場者数> 午前の部299名、午後の部191名、夕方の部60名 計550名				
R5振り返り	コロナ感染症も5類に移行になった事もあり、対面での交流や研修会がコロナ禍以前のように開催することができた。 コロナ禍でボランティアの方の活動調整機能が停止していたので、活動先を広げるため市内介護施設等へ受入について確認を年度末に行った。確認した内容をもとに活動先の紹介と実際の活動に繋げる事を次年度進めていきたい。				

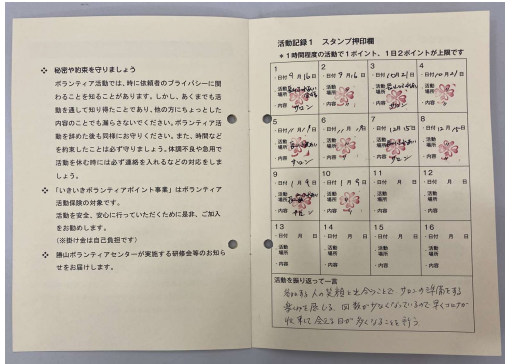
(1302)預託配分事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	預託配分事業	第1層(全市)
収入(円)	寄附金	利息分			計
	18,000				18,000
支出(円)	助成金	当期収支差額			計
	10,000	8,000			18,000
事業概要	市民からの寄付金・物品の受入、払い出し。市内で火災が発生した際に見舞金を払い出す				
事業報告	●物品【預託】76件(介護用紙おむつ、パット、下着、衣類、マスク、洗剤、米、フェイスタオル、食料品、日用品、押し車、布団、赤ちゃんのおむつ、文房具、扇風機等) ●災害ボランティア【預託】3件(古タオル、土のう袋、飲み物、ブルーシート) ●物品【払い出し先】52件(介護保険事業所、ヘルパー事業所、介護保険施設、生活困窮者、生活保護受給者、勝山市福祉避難所等) ●災害ボランティア【払い出し先】(災害ボランティアセンター、災害ボランティア活動者、被災者等) ●金銭預託(ボランティア運営事業へ) 3件 18,000円 ●火事見舞金 1件 10,000円 ●次年度繰越金 繰越金3,205,446円+今年度預託金18,000円-払出10,000円= 3,213,446円				
R5振り返り	夏の豪雨災害の時にたくさんの寄付をいただき、災害ボランティアセンターで役立たせていただいた。その他通常の寄付物品もたくさんいただき、必要な方に払い出した。				

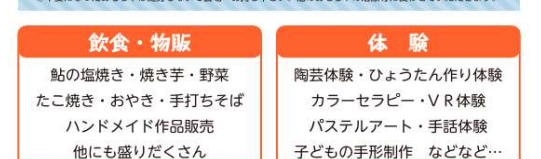
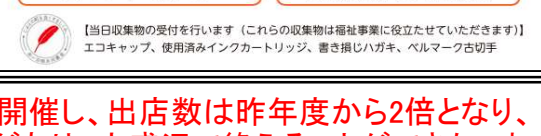
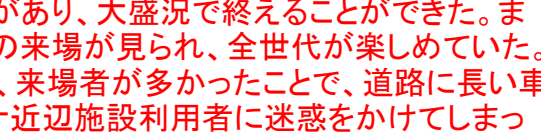
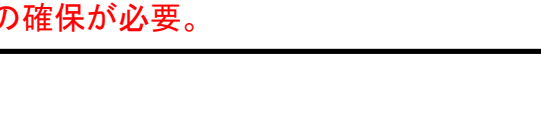
(1304)つながりの輪づくり推進支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	つながりの輪づくり推進事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	115,000				115,000
支出(円)	事業費				計
	115,000				115,000
事業概要	ボランティアセンター運営委員会を中心につながりづくりを推進する。				
事業報告	【ボランティアセンター運営委員会 全体会】 R5年5月30日(火)、R5年12月12日(火)、R6年3月19日(火) 計3回開催 ●ボランティア研修会 『～助け合いで和気あいあい!!心を開く声掛け～』 R6年2月10日(土)34名・スタッフ3名参加 オフィス・マインドルージュ 代表 藤田 由美子氏を講師に、ボランティア活動や普段の生活でも役立つコミュニケーションを学ぶ研修会を開催  ●災害ボランティアセンター連絡会 ●各部会で決めた行事への参加				
	【ボランティアセンター運営委員会 広報部会】 R5年8月30日(水) 計1回開催 ●ボランティアセンター周知 ・すこやかフェスタ出店 R5年10月7日(土)(ココドングッズ販売・収集物品受付) ・年の市出店 R6年1月28日(日)(ココドングッズ・ココドンパン・チャリティー映画会チケット販売) ●第38回チャリティー映画会 「桜色の風が咲く」 R6年3月9日(土)上映				
	【ボランティアセンター運営委員会 企画部会】 R5年8月25日(金) 計1回開催 ●福祉学習交流会 R5年11月18日(土)小学4年生10名、障がい者7名、教員1名、運営委員4名、事務局5名 3年ぶりに対面型の交流会を開催。市内の小学4年生と障害がある方とがスポーツや料理を一緒に取り組むことでお互いを知り、理解する機会とした ●ボランティア団体交流会 R5年12月1日(金)8団体18名、事務局4名 たけとう病院野向の舎 中村こと美氏を講師に招き、社会参加をすることで脳の活性化を生み、認知症予防につながるという話をしていただいた。その後、各ボランティア団体活動状況について発表してもらった。				
R5振り返り	ボランティアセンター運営委員会が企画する研修や各種行事の内容について運営委員と共に企画や検討を重ねた。 年度末に年間活動の振り返りを行い、委員から出た意見を次年度活動検討の際に活かしていく。				

(1305)地域いきいきボランティアポイント事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	ボランティア活動事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	地域いきいき ボランティアポイント事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,529,000				1,529,000
支出(円)	人件費	事業費	助成金		計
	1,250,000	162,000	117,000		1,529,000
事業概要	高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進するために、高齢者に関するボランティア活動をポイント制にし、集まったポイントを商品券などに換金する				
事業報告	【研修】 ●地域いきいきサポーター養成講座 R5.7.31(月) 参加者15名 講座:「特技・趣味」を活かして地域で社会参加 講師:福井大学国際地域学部 准教授 田中志敬氏 ●地域いきいきサポーター養成講座 R5.12.18(月) 参加者15名 講座:「明日から使えるコミュニケーション力UP講座〜ご近所見守り・声かけが驚くほど気軽になる〜」 講師:オフィス上村 代表 上村泰子氏 【ポイント事業】 ●参加登録者数・・・男性／14名 女性／54名 合計／68名 ●ポイント引き換え者・・・60名 ●引き換え額・・・117,000円				
	  ●主な活動内容・・・介護保険施設での活動（縫製ボランティア等） 各地区サロンでの活動（企画、運営、話し相手等） 認知症カフェでの活動（サンプラザ内:まちなかcafe等） 近所や地区での活動（ゴミ出し等） 買い物支援				
R5振り返り	・コロナ禍により登録者・交換ポイント数の減少があったが、5類移行になり活動が増え、登録・交換が増えた。 ・コロナウイルス感染症も5類に移行され、ボランティアの方々の活動先を増やし介護保険施設等にもボランティア受入再開してもらえるよう、各施設のボランティア受入状況を確認し、活動先を増やしていきたい。				

(1404)福祉育成・援助活動事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	福祉育成 援助活動事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	階層区分間繰入金	前期末資金残		計
	908,805	30,873	13,787		953,465
支出(円)	事業費				計
	1,233,502				1,233,502
事業概要	主にすこやかフェスタを開催				
事業報告	●すこやかフェスタ開催事業 令和5年10月7日(土)ジオアリーナで開催 地域・団体・住民自組織等が連携を深め「人と人がつながる元気の出るまちづくり」を目指して開催。今年度はコロナ禍前のように飲食可能として、会場は昨年に続きジオアリーナで開催し、出店者は54店、来場者は概ね4,000人集まった。 すこやかフェスタ開始前に勝山市社会福祉協議会会長表彰式を行い、社会福祉事業への貢献が顕著な団体・個人に対して表彰した。 ステージイベントに、勝山市と福井市で展開しているダンススクール「アドバンスター」生徒達のダンスと、勝山高校吹奏楽部による演奏が行われた。 出店では、地区社協、市内のキッチンカー、福祉施設による利用者の作品展示、市こども課健康体育課による赤ちゃん写真・手形展、市内住民のハンドメイド作品販売などがあり、全世代が関わり、福祉や社協に関心を持ってもらえるよう募集した。 4年ぶりに小中学生によるボランティアを募集し、約30名の参加があった。ボランティアには、出店ブースに入ってもらい各店舗で手伝いをしていただいた。				
	       				
R5振り返り	4年ぶりに飲食可能でのすこやかフェスタを開催し、出店数は昨年度から2倍となり、当日来場者も想像を超えるたくさんの来場があり、大盛況で終えることができた。また、目標としていた子ども連れや、3世代での来場が見られ、全世代が楽しめていた。駐車場はジオアリーナ内で想定していたが、来場者が多かったことで、道路に長い車列が発生してしまい、来場者やジオアリーナ近辺施設利用者に迷惑をかけてしまった。来年度はジオアリーナの他にも駐車場の確保が必要。				

(1405)歳末たすけあい配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末資金残			計
	1,988,622	552,273			2,540,895
支出(円)	事業費	配分金事業			計
	245,895	2,295,000			2,540,895
事業概要	民生委員に要援護世帯調査を依頼、準要保護世帯については教育委員会に協力を要請を行い、対象となる援護を要する世帯から申請をもらい、個別配分の可否を委員会で審査、可世帯に対し個別配分を行う。その他の配分先は、「歳末たすけあい配分委員会」で検討、決定される				
事業報告	配分委員会【1回目】10月20日【2回目】11月24日				
		対象者	人数	金額	備考
	個別配分	要援護世帯	141世帯	2,115,000	@15,000
		遺児	18名	180,000	図書券@10,000
		低所得者等支援		68,224	生活困窮者等食糧等備蓄
	事業費配分	貸出機器管理・用品費		8,630	貸出機器修理費・付属品の購入等
		事務経費及び広報費等		90,809	切手・封筒購入、広報費等
		生活困窮者への緊急支援活動		78,232	食材配布
		合 計		2,540,895	
R5振り返り	個別配分は要援護世帯1世帯につき15,000円を配布することができた。 生活困窮者への緊急支援活動として、可能性のある世帯に食材を配布した。その際、生活の困りごとアンケートの実施により、各相談窓口などの案内ができた。 個別配分は申請式だが、個人情報聞き出しにくい時代となり、十分な聞き取りができない 結果、個別配分の必要性が審査委員会では検討しづらくなっている。 歳末たすけあい配分委員会で配分について考えて行く必要がある。				

(1406)ボランティア活動育成事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	ボランティア活動育成事業	ボランティア活動育成事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	前期末資金残			計
	115,000	32,670			147,670
支出(円)	事業費	助成金			計
	97,670	50,000			147,670
事業概要	ボランティアセンター事業の一環。ボランティア活動者(登録者)等を対象にボランティア活動や地域の貢献について、学びの場の提供				
事業報告	●ボランティア団体交流会 →R5年12月1日(金)8団体18名、事務局4名 たけとう病院野向の舎 中村こと美氏を講師に招き、社会参加をすることで脳の活性化を生み、認知症予防につながるという話をしていただいた。その後、各ボランティア団体活動状況について発表してもらった。				
	●ボランティア研修会 →R6年2月10日(土)34名・スタッフ3名参加 『～助け合いで和気あいあい!!心を開く声掛け～』 オフィス・マインドルージュ 代表 藤田 由美子氏を講師に、ボランティア活動や普段の生活でも役立つコミュニケーションを学ぶ研修会を開催。 グループワークや演習では、積極的に会話やロールプレイをされ、参加者のアンケートでも「初めて会ったとは思わないほど親しみやすく勉強になった」「言葉かけの重要性を改めて学ばせてもらった」との声があり、今後のボランティア活動に役立ててもらえる研修になった。 周知方法:①令和6年1月末時点ボランティア活動保険登録者 740名 ②いきいきボランティアポイント登録者 68名 ③社協だより1月号にて広報				
R5振り返り	ボランティアセンター運営委員会で委員の方に検討してもらい、ボランティア団体交流会やボランティア研修会共に、コロナ禍前のように開催する事ができた。 どちらも、開催後参加者にアンケートをとり、その内容をもとに次年度の開催に役立てる。 ボランティア研修会のアンケートでは、子どもに関する内容を聞きたいという声が多かった。 ボランティア団体交流会で団体同士の交流だけでなく、広く市民へのボランティア団体の周知も必要と感じた。				

(1407)法外・災害援護配分金事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分事業	法外・災害援護 配分金事業	法外・災害援護 配分金事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金				計
	30,000				30,000
支出(円)	助成金				計
	30,000				30,000
事業概要	行路者・火災被災者へ、見舞金等を渡す				
事業報告	●行路者援助(来所する行路者に対し、電車賃・バス代程度を渡す):0件 ●火災見舞(市内の火災被災者に対する見舞金):1件				
R5振り返り	全焼の火事が1件あり、死亡者1名				

(1408)まちなかCafé事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲				
	法人運営事業	共同募金配分事業	まちなかCafé 運営事業	まちなかCafé 運営事業	第1層(全市)				
収入(円)	共同募金	前期末資金残			計				
	612,000	239,297			851,297				
支出(円)	人件費	事業費			計				
	384,000	467,297			851,297				
事業概要	社会的孤立感の解消及び誰もが気軽に立ち寄れる場所として、勝山サンプラザ内に居場所を設置し、運営する。また、社会福祉法人が実施する地域貢献事業としても位置付ける								
事業報告	・まちなかcafé運営委員会の開催 12/5								
	令和5年度 まちなかCafé利用者数								
		月	日数	総計	男性	女性	子供	高校生	中学生
	5年	4月	21	373	141	229	3	0	0
		5月	22	376	175	199	2	0	0
		6月	21	379	173	204	2	0	0
		7月	21	331	153	175	3	0	0
		8月	22	360	167	193	0	0	0
		9月	22	356	164	192	0	0	0
		10月	20	336	166	170	0	0	0
		11月	22	419	215	204	0	0	0
		12月	20	326	154	172	0	0	0
	6年	1月	20	366	189	169	2	6	0
		2月	21	477	246	229	2	0	0
		3月	22	441	212	229	0	0	0
			総計	男性	女性	子供	高校生	中学生	
1ヶ月 平均366.2人	254	4,540	2,155	2,365	14	6	0		
	・年間254日開店 延べ4,540名利用								
	・ボランティア活動者 5名								
	延べ活動回数 188回								
									
R5振り返り	新型コロナウイルス5類移行に伴い飲食可能での運営再開した。これに伴い居心地がよくなったためか、昨年度に比べ利用者延数が約1,000人増えた。買物終わりの一休み、仕事終わりの寄り道、日中の居場所など利用者の生活リズムの一つになっていることが伺え、引き続き居心地の良い居場所づくりを行っていく。								



(1409)貸出事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分金事業	貸出事業	貸出事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	負担金	繰入金		計
	317,000	96,500	733,412		1,146,912
支出(円)	事業費	事務費	当期末収支差額		計
	224,052	37,200	885,660		1,146,912
事業概要	車椅子対応の福祉車両の貸出、福祉用具、介護機器の貸し出しサービス				
事業報告	●乳幼児用品貸し出し事業 チャイルドシート(5件)ジュニアシート(2件)ベビーカー(0件)貸出 (昨年度 チャイルドシート(7件)ジュニアシート(5件)ベビーカー(3件)貸出)  チャイルドシート  ジュニアシート  ベビーカー				
	●リフト付き車両貸出事業 軽自動車(タント)35件 ワゴン車(ハイエース)21件 合計56件 ●介護機器貸し出し事業 〈物品貸し出し〉 車椅子 短期 44件、長期 12件、継続利用 13件 ベット 継続利用 17件 *新規貸出 中止中 〈保有台数〉 車いす 54台、ベッド21台、歩行器 3-台、松葉杖 1 〈廃棄・処分台数〉ベッド 0台 ベッドマット 0枚 ●在宅障害者「ふれあいの部屋」開催時送迎支援  				
R5振り返り	令和4年度より新規ベット貸し出し中止。令和5年度は継続貸出のみ対応したが、令和6年度に利用者の意向を確認し事業終了していく。返却された介護ベッドは廃棄予定。 チャイルドシート、ジュニアシート、ベビーカーは少子化やネットでのフリーマーケットも進んでおり、年々貸出件数が減少している。再度周知したいと考えている。リフト付き車両の貸し出し件数は昨年から、1件増。利用者からは、とても助かるという声聞かれ、繰り返し利用される方が多くみられる。				

(1410)福祉教育推進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	共同募金配分金事業	福祉教育推進事業	福祉教育推進事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	県社協受託金	参加費収入	階層区分繰入金	計
	844,000	100,000	1,800	436,652	1,382,452
支出(円)	事業費	事務費	助成金	当期資金収支差額	計
	314,940	10,000	390,000	667,512	1,382,452
事業概要	赤い羽根共同募金の配分と県社会福祉協議会の助成金を受け、市内小中学校の福祉教育に助成金を交付する。福祉教育推進に関する「福祉教育担当教諭研修会」の開催、小学校4年生(福祉を学ぶ学年)を対象とした「福祉学習交流会」の開催、全小中学校の訪問、各学校への「ゲストティーチャーの派遣」等に関する調整業務を行う。				
	●福祉教育担当教諭連絡会 小学校10校、中学校3校 それぞれ個別訪問し、福祉教育の取り組み説明や事例の紹介、勝山市地域ぐるみ福祉教育推進事業助成金の案内を行った。 ※勝山市地域ぐるみ福祉教育推進事業として、赤い羽根共同募金の配分を受け市内10小学校、3中学校へ助成金を配分した(1校30,000円) ●小中学校の授業やクラブ活動へ延べ139名のボランティア、保健師、保健推進員、ゲストティーチャー、地区社協コーディネーター、地域住民、保護者、職員等の協力のもと活動した ●学校との年間打ち合わせ回数 26回、年間授業・クラブ活動への支援回数 32回 依頼があった小中学校へ出向き、地域共生社会づくりに向けて取り組めるプログラムの打ち合わせを担当教諭と綿密に行った。 福祉の学習と高齢者理解のため、シニア体験、アイマスク、赤ちゃんお世話体験・妊婦体験等の疑似体験を行った。これらを通して「お互い様の関係づくり、人にやさしいまちづくり」を考えるきっかけとした。また、単発な学習ではなく、長期で取り組める内容になるよう、何度も打ち合わせを行い、1年間のストーリーを組み立てるよう学校や地域と連携して取り組んだ。 【内容抜粋】 ・妊婦、赤ちゃんお世話体験 ・シニア体験 ・ふれあいサロン見学 →見学後生徒主催サロン交流会開催 ・車いす体験 ・給食サービスに食材提供や給食サービスに添える手紙作成 ・スティックリング交流会 ・認知症サポーター養成講座 ・アイマスク体験 ●福祉教育担当教諭振り返りアンケート 福祉教育担当教諭に1年間の福祉教育を振り返るため、アンケートを実施した。アンケート結果は、次年度各学校個別訪問の際に資料としてお渡しし、活用していただく。				
R5振り返り	福祉担当教諭連絡会は各学校へ出向き個別に前年度の各学校の活動状況報告や紹介、今年度についての打ち合わせ等を行った。 学校により取り組む内容は様々だが、打ち合わせを密に行う事により、各学校の生徒や教諭の思いを聞き、学習のテーマや目的をもとに単発な学習ではなく、1年間通しての学習が組み立てられた学校が多かった。				

(1411)子育て世帯支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	子ども見守り宅食支援事業	第1層(全市)
収入(円)	共同募金	法人より			計
	300,000	50,000			350,000
支出(円)	事業費				計
	350,000				350,000
事業概要	日常生活において困難を抱えている家庭や、経済的に困窮・孤立化を余儀なくされている家庭等を支援するためフードドライブに取り組む。WAKU-WAKU映画祭を開催し、無料で小中学生に映画を楽しんでもらう。				
事業報告	【事業内容】 かつやまこども”WAKU-WAKU”映画祭開催 【実施内容】 ・WAKU-WAKUレンジャーの募集→南部中学美術福祉部 ・WAKU-WAKUレンジャーとの打ち合わせ - 上映映画の選定・レクレーションの企画・お土産の選定 ・12月16日 映画上映 「ザ・スーパーマリオブラザーズムービー」 - 入場無料・レクレーション(ビンゴゲーム大会) - 入場者数 326名				
	    【事業内容】 ひとり親世帯への食糧配布 【実施内容】 ・12月20日(水)～23日(土)、25日(月)10～12時／16～18時 - 配分内容:野菜セット、調味料セット・米5キロ 80世帯 ・3月27日(水)～30日(土)10～12時／16～18時 ・配分内容:野菜セット、調味料セット75世帯 米5キロ(市民からの寄付)75世帯  				
R5振り返り	WAKU-WAKUレンジャーを募り、レンジャーと一緒に企画運営を行い、映画祭を開催する。以前は制限があり、事前登録などもあったが、全く制限なく、チラシのみの配布ではあったが、多くの子ども達に参加してもらい大盛況で行えたことが良かった。事業の一部は、共同募金からの運営ということの、啓発広報活動も行ったが、募金収益にはつながらなかった。 ひとり親世帯などの子育て世帯に対しての相談窓口として、「ひとり親世帯への食糧配布」を行った。困りごとなどの聞き取りから、必要に応じて困りごとの相談窓口などの紹介なども行うことが出来た。				

(1501)生活福祉資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	県社協受託金				計
	451,000				451,000
支出(円)	人件費	事業費			計
	0	451,000			451,000
事業概要	低所得者や高齢者、障害者の自立した生活を経済的に支えるとともに、世帯の福祉及び社会参加の促進を図る				
事業報告	[生活福祉資金] ●貸付相談件数 7件(前年度 相談件数 6件) ※生活困窮者自立支援事業担当職員とも連携して相談に対応した ●新規貸付件数 0件 ●償還完了件数 6件(福祉費3件、教育支援資金1件、緊急小口2件) ●延滞利子支払免除件数 0件				
R5振り返り	教育支援資金等の相談があったが、他方優先が原則にあるため貸付に至らなかった。				



(1502)小口資金貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営事業	資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	第1層(全市)
収入(円)	償還金	受取利息	法人より		計
	175,000	2	1,566		176,568
支出(円)	事業費	貸付金	当期資金収支差額		計
	1,568	124,000	51,000		176,568
事業概要	当座の資金不足により生活が行き詰った方へ小口で一時資金を貸し付ける				
事業報告	延べ件数 ●貸付件数 16件 202,000円 ●返済金 46件 253,000円 ●貸付残のある方 10件 169,000円				
R5振り返り	貸付と償還を繰り返す方、自己破産、生活保護の相談も受けたが、生活困窮者自立支援センター相談員と共に関わった。 相談時には必ず「収支表を自ら記入する」ことをルール化し、収支に対する「気づき」を促した。返済については丁寧な相談対応に努めた。 小口資金貸付希望に対応できない時は、食料支援の実施をした事案もあった。				

(1503)特例貸付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲						
	法人運営事業	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	第1層(全市)						
収入(円)	県社協受託金				計						
	3,250,000				3,250,000						
支出(円)	人件費	事業費			計						
	2,975,000	275,000			3,250,000						
事業概要	令和2年3月～令和4年9月まで行われた、コロナ特例貸付の償還が始まり、状況に応じて面談、聞き取りを行い、必要な支援につなげた。										
事業報告	特例貸付を利用した借受人に対し、アンケート調査を行った。 すでに償還免除、自己破産、死亡を除く51件。返信11件、不着6件 アンケート内容 1. 現在の収入はコロナ前と比べてどうですか。 2. 今後の見通しはどうですか。 3. 今後の生活について、勝山市社協に相談したいですか。 「すぐにでも相談したい」という2名に対し、来所いただきヒアリングを行った。 フォローアップ支援 返済が始まっているが延滞している方に対し連絡。 来所していただき、生活困窮担当同席のもと生活状況の把握。ケースによっては、償還猶予の対応、中には一括返済を約束する方などもいた。 令和6年3月31日現在 <table><tr><td>貸付件数(総数)</td><td>76件</td></tr><tr><td>償還免除</td><td>23件 5,281,670円</td></tr><tr><td>償還猶予</td><td>5件 1,500,000円</td></tr></table>					貸付件数(総数)	76件	償還免除	23件 5,281,670円	償還猶予	5件 1,500,000円
貸付件数(総数)	76件										
償還免除	23件 5,281,670円										
償還猶予	5件 1,500,000円										
R5振り返り	県社協(国の指導)より、借受人に対し、フォローアップ支援を行った。他市町に転出していたり県外転出していたり(逆に転入者あり)と、借受人の移動があり、対応に苦慮した。										

(0601)生活困窮者自立支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	11,090,000				11,090,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	10,300,000	779,000	11,000		11,090,000
事業概要	生活困窮者支援法に基づき、生活に困っている人からの相談を受け、抱える課題を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら自立した生活を支える。また、必要な人には計画を立てて支援を実施する。関係機関や市役所内の各部署の連携が図れるように働きかける。困窮世帯へ向けて緊急食糧支援を実施。				
事業報告	生活保護に至らないようにするために生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」として、包括的に支援を実施した。また、生活困窮者の早期把握や見守りのための地域ネットワークの構築、働く場を広げていくことに努めた ●必要なアセスメント、プラン兼事業等利用申込書(案)を本人と共同で作成、支援調整会議で支援内容について検討、評価を行いながら包括的・継続的な相談支援 ・新規相談 11件 ・相談件数 述べ305件 ・プラン作成 3件 ・就労者数 4件 ・生活保護につないだケース 2件 ・必要時に貸付相談へつなぎ 小口福祉資金 7件 県民生協フードドライブ食糧 寄付米 ・支援調整会議 6回、支援会議 0回 ・食糧配分(福井県・県民生協・歳末助け合い募金備蓄食品・東洋羽毛フードドライブ・セブンイレブン、ダイナム寄贈品・市民からの寄付米など) 多数 ●広報・啓発事業の実施 ・社協広報誌「社協からこんにちは」R6.2月発行 ・令和5年度保護司会第2期地域別定例研修会 9月21日(木)15:00～ 1名 ・県立大学実習生受け入れ 11月9日 10:00～12:00 ・福井大学医学部5年生実習受け入れ 7月5日 13:00～15:00 ●関係機関との連携 ・若者等支援機関ネットワーク会議 7月25日 10:00～12:00 2名・11月7日 13:00～15:00 2名 ・奥越地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 6月29日 10:00～11:30 2名 ・生活福祉資金市町社会福祉協議会自立相談支援機関担当者会議 3月13日 13:00～17:00 ・ひきこもり対策連絡協議会 8月29日 10:00～11:00 ●相談員の研修 ・ひきこもり支援関係機関職員研修 4月26日 14:30～16:00 2名・10月25日 14:00～15:00 1名 ●令和5年度生活困窮者等食糧支援事業 ひとり親世帯130世帯へチラシ配布し、希望者に食料配分を行った。 ・12月20日(水)～23日(土)、25日(月)10～12時/16～18時 - 配分内容:野菜セット、調味料セット・米5キロ 80世帯 ・3月27日(水)～30日(土)10～12時/16～18時 ・配分内容:野菜セット、調味料セット75世帯 米5キロ(市民からの寄付)75世帯 - 協力者:主任児童委員8名 ●生活困窮者への食糧支援 126回				
R5振り返り	相変わらず、ローンやライフラインの支払いができないという相談、高齢の方や障害を持っている方の相談も多かった。立て直しを図ったが2名の方は生活保護につなげた。その後1名は、就労が軌道に乗り生活保護停止となる。 就労意欲を引き出し、給与収入を得たり、制度活用を行い、生活基盤を整えた。支援の出口の不足を感じる。 制度の周知徹底を行い、生活費がない状態に陥る前に早期発見につなげていきたい さらには、ひとり親家庭(約80世帯)へ食糧を取りに来ていただき、対面で話すことにより、家庭状況を確認し、新たに気がかりな家庭を把握することができた。令和5年度は、福井県から制度に対するチラシの配布もあり、相談に来た方への支援としての食糧支援などもあり、相談時に食糧支援を行うことが出来た。				



市民からの



(0602)生活困窮者自立支援・就労準備支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者 自立支援事業	就労準備支援事業	就労準備支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	1,840,000				1,840,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	1,592,000	234,000	14,000		1,840,000
事業概要	「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行う				
事業報告	自立相談支援機関のアセスメントに基づき、就労準備支援の必要性がある方が対象となる ●アセスメントを行い、就労準備支援プログラム作成、月1回程度の振り返り評価を行いながら1年を基本として実施。 ・支援内容:日常生活自立に関する支援 社会生活自立に関する支援 就労自立に関する支援 ハローワークへの同行 就労後の定着支援 他関係機関との連携など ・就労準備支援室を(金)13～17時開設 ・事業実施 2件 ●関係機関との連携 ・若者等支援機関ネットワーク会議 7月25日 10:00～12:00 2名・11月7日 13:00～15:00 2名 ・ひきこもり対策連絡協議会 8月29日 10:00～11:00				
R5振り返り	収入がないので仕事を探したいという要望はあるが、今までの経験値から気持ちの切り替えができず、就労につなげることが困難であった。 制度の周知や対象者の発掘等 能力・意欲が低い方へのアプローチ方法を更に探していきたい				



(0603)生活困窮者自立支援・家計改善支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活困窮者自立支援事業	家計改善支援事業	家計改善支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	3,600,000				3,600,000
支出(円)	人件費	事業費	退職積立金		計
	3,134,000	200,000	266,000		3,600,000
事業概要	自立相談支援機関において、経済的な問題に背景がある相談者に対して家計の視点から相談支援を行う。家計改善・家計再生プランを作成し、自ら家計を管理する意欲、能力を高め、経済的困窮より脱却できるよう支援していく				
事業報告	自立相談支援機関のアセスメントに基づき、家計改善の必要性があると支援調整会議で検討された方を相談対象とする。 ●アセスメントを行い、家計再生プラン(案)を本人と共同で作成し、支援調整会議で支援内容について検討し支援決定を受け、約1年間を基本として相談を実施。 ・支援内容:家計計画表、キャッシュフロー表を作成し家計の見える化を行う 滞納(家賃、税金、公共料金など)の解消や各種給付制度利用に向けた支援 債務整理に関する支援(多重債務者相談窓口との連携) 貸付けのあっせん など ★制度説明・提案 11件 ★家計再生プラン 2件 ★再プラン作成 0件 ●関係機関との連携 ・日常生活自立支援事業 制度紹介6件 ・若者等支援機関ネットワーク会議 7月25日 ・11月7日 				
R5振り返り	家計改善が必要な方に家計相談を行うことでライフラインの滞納解消や生活費が見える化することで貯蓄ができるようになった方もいた。しかし、管理能力が低い方、改善意欲のない方へのアプローチ方法が難しい。 また、以前、改善したが、家計のやりくりができなくなり再度相談という事案があることから、継続しての状況確認が必要と感じた。				

(0701)生活支援体制整備事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	9,616,000				9,616,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	助成金	計
	1,342,000	704,000	10,000	7,560,000	9,616,000
事業概要	助け合う地域づくりに向け関係機関ネットワーク会議の開催、生活支援コーディネータの設置、地域の課題解決の場と新たなサービスを構築をする。併せて、まちなかCaféを核にした支援を考える				
事業報告	【1層(市全体)の生活支援コーディネーターの活動】 ▶一人暮らし高齢者、高齢者世帯の生活支援サービスのコーディネート ▶地域いきいきサポーター養成講座 7/31、12/18 ▶地域個別支援 231回 ▶第1層協議体の開催準備 ▶関係機関とのネットワークづくり (1)勝山市総務課・地域包括支援センター、民生委員、ケアブレイクかっちゃん、勝山高校 (2)地域ケア個別会議への参画 年4回 ▶まちなかcaféの運営(21ページに掲載) ▶サンプラザcaféのボランティアスタッフ調整 ▶買物支援体制の構築 - 平泉寺地区 買物支援事業「お買い物にいこうよ！」の実施 - 村岡地区 買物支援事業「地域の人と一緒に買い物に行こう」の実施 - 遅羽地区 お試し買物支援事業実施、6年度に本格実施予定 - 北郷地区 デマンドバスを使ってサンプラザへ買物支援 ▶市社協主催研修会 「防災セミナー」12/22 すこやか多目的ホール 88名参加 「被災した時の自分の役割って？その時あなたはどうか動く？」 【2層(まちづくり会館単位)の生活支援コーディネーターとの連携した活動】 ▶ふれあいサロン、給食サービス、地域ぐるみ雪下ろし事業の実施や取りまとめ ●地区ごとの研修等の開催 ・地域で展開する移動支援研修(村岡) ・災害に関する研修(野向、猪野瀬、遅羽、北谷) ・救命救急講習(村岡、荒土、鹿谷、北郷) ・男性参加促進体操教室(勝山) ・認知症への理解、予防教室(平泉寺) ●生活支援ネットワーク会議の開催(地区社協コーディネーター連絡会) 年12回 【その他】 ・福井大学医学科 地域包括ケア実習受け入れ 7月5日 ・福井県立大学看護福祉部 社協見学実習受け入れ 7月18日 ・福井県社協社会福祉士実習生の市社協見学実習受け入れ 11月9日 ・コーディネーター研修会 ニュースポーツ体験会 10月2日				
R5振り返り	新型コロナウイルス5類移行に伴い、抑制されていた活動が再開するだけでなく、移動困難者への買物支援お試し実施やまちづくり会館での居場所サロンの実施など地区社協コーディネーターを中心に新たな取り組みが活発に行われた。 6年度は、市内全体の課題である移動困難者への支援をテーマに掲げて協議体を開催し、市内関係機関での現状と課題の共有、課題に対する歩み寄りを行う。				

(1601)老人ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲																																							
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	老人ホームヘルプ事業	第1層(全市)																																							
収入(円)	市補助金収入	介護保険	利用料		過年度修正益																																							
	29,000	19,433,852	2,991,215		31,584																																							
					計																																							
					22,485,651																																							
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金																																							
	17,546,744	1,871,916	196,445	0	962,728																																							
	拠点区分繰入金支出当期資金収支差額				計																																							
	1,198,272	709,546			22,485,651																																							
事業概要	介護保険法に基づく訪問介護事業の実施(家事援助、身体介護等)																																											
事業報告	<table><tr><th>年度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th><th>令和3年度</th></tr><tr><td>派遣利用者数</td><td>497人</td><td>438人</td><td>533人</td></tr><tr><td>派遣回数</td><td>5542回</td><td>5777回</td><td>7817回</td></tr><tr><td>稼働時間</td><td>3824時間54分</td><td>4013時間49分</td><td>5098時間29分</td></tr></table>					年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	派遣利用者数	497人	438人	533人	派遣回数	5542回	5777回	7817回	稼働時間	3824時間54分	4013時間49分	5098時間29分																							
	年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度																																								
	派遣利用者数	497人	438人	533人																																								
	派遣回数	5542回	5777回	7817回																																								
	稼働時間	3824時間54分	4013時間49分	5098時間29分																																								
	<table><tr><th>月</th><th>内容</th><th>特記</th></tr><tr><td rowspan="2">4月</td><td>令和5年度事業説明</td><td rowspan="2">チェックリストを使いマナーの振り返りを行った</td></tr><tr><td>倫理要領と法令遵守・プライバシー</td></tr><tr><td>5月</td><td>感染予防対策・嘔吐物処理</td><td>嘔吐物処理の動画をみて実際に嘔吐物に見立てて行った、食中毒について学んだ</td></tr><tr><td rowspan="2">6月</td><td>AEDの取り扱いについて</td><td rowspan="2">AEDの取り扱いについて消防署にて学ぶ、スマホを使い指示を仰ぐ</td></tr><tr><td>救命救急</td></tr><tr><td>7月</td><td>認知症について</td><td>たけとう病院の研修に参加</td></tr><tr><td>9月</td><td>介護技術</td><td>オムツ交換、清拭、洗浄を行った</td></tr><tr><td>10月</td><td>介護技術</td><td>着替え、車いす移乗</td></tr><tr><td rowspan="2">11月</td><td>同行援護の研修報告</td><td rowspan="2">雪に備えて、必要な物の準備について 同行援護のポイント</td></tr><tr><td>雪害対策について</td></tr><tr><td>1月</td><td>ヒヤリハットの対応と再発防止について</td><td>誰がではなくなぜを全員で共有することで事故を防ぐ</td></tr><tr><td>2月</td><td>訪問介護記録書の基本について</td><td>県ヘルパー協議会の研修を受講する</td></tr><tr><td>3月</td><td>手順書の見直し</td><td>ケアマネの計画書の確認、手順を再確認した</td></tr><tr><td>3月</td><td>一年のまとめ</td><td></td></tr></table>					月	内容	特記	4月	令和5年度事業説明	チェックリストを使いマナーの振り返りを行った	倫理要領と法令遵守・プライバシー	5月	感染予防対策・嘔吐物処理	嘔吐物処理の動画をみて実際に嘔吐物に見立てて行った、食中毒について学んだ	6月	AEDの取り扱いについて	AEDの取り扱いについて消防署にて学ぶ、スマホを使い指示を仰ぐ	救命救急	7月	認知症について	たけとう病院の研修に参加	9月	介護技術	オムツ交換、清拭、洗浄を行った	10月	介護技術	着替え、車いす移乗	11月	同行援護の研修報告	雪に備えて、必要な物の準備について 同行援護のポイント	雪害対策について	1月	ヒヤリハットの対応と再発防止について	誰がではなくなぜを全員で共有することで事故を防ぐ	2月	訪問介護記録書の基本について	県ヘルパー協議会の研修を受講する	3月	手順書の見直し	ケアマネの計画書の確認、手順を再確認した	3月	一年のまとめ	
	月	内容	特記																																									
	4月	令和5年度事業説明	チェックリストを使いマナーの振り返りを行った																																									
		倫理要領と法令遵守・プライバシー																																										
	5月	感染予防対策・嘔吐物処理	嘔吐物処理の動画をみて実際に嘔吐物に見立てて行った、食中毒について学んだ																																									
	6月	AEDの取り扱いについて	AEDの取り扱いについて消防署にて学ぶ、スマホを使い指示を仰ぐ																																									
		救命救急																																										
7月	認知症について	たけとう病院の研修に参加																																										
9月	介護技術	オムツ交換、清拭、洗浄を行った																																										
10月	介護技術	着替え、車いす移乗																																										
11月	同行援護の研修報告	雪に備えて、必要な物の準備について 同行援護のポイント																																										
	雪害対策について																																											
1月	ヒヤリハットの対応と再発防止について	誰がではなくなぜを全員で共有することで事故を防ぐ																																										
2月	訪問介護記録書の基本について	県ヘルパー協議会の研修を受講する																																										
3月	手順書の見直し	ケアマネの計画書の確認、手順を再確認した																																										
3月	一年のまとめ																																											
* 研修の際には伝達会議も併せて実施した																																												
ケア会議参加 83回 ミーティング20回(月2~3回) サービス提供者会議 12回																																												
※降雪が続き、利用していた駐車スペースが使用不能となったが、県(コンビニ)、市(公共施設)の働きかけでスムーズに駐車し、訪問することができた。																																												
R5振り返り	年間通して感染予防に努めた。新しいヘルパー4名を迎え、利用者の自立を目的に身体介護、生活援助を行った。看取りの方が非常に多く、また短期間の利用であった。介護技術の再確認のための研修を重点的に行った。訪問依頼は朝・夕に集中することが多い。介護福祉士取得者が2名増え全体の8割近くが介護福祉士をもっていることになった。																																											

(1602)あんしんサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	あんしんサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	前期末資金残			計
	181,615	106,385			288,000
支出(円)	人件費				計
	288,000				288,000
事業概要	施設利用の方が一時帰宅されたとき、または、介護保険対象外の方や、障害サービスで認められてないサービスを希望される方に対して、30分1,000円でサービスを提供する				
事業報告					
	年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
	派遣利用者数	21人	44人	40人	
	派遣回数	158回	338回	324回	
	稼働時間	91時間30分	148時間51分	153時間07分	
	支援内容 ペットの世話(介護計画に基づく) 衣替え 安否確認(利用者の家族への支援) 通院介助(介護保険報酬対象外の部分) 買い物支援(障害者)				
R5振り返り	年間通して感染予防に努めた。障害福祉サービスにつながるまでの間の利用や、介護保険では対応外となるサービスについてあんしんサービスを提供した。 利用者が生きがいとしてペットを飼育しているが、高齢でペットの世話が十分に出来なくなった。本人の意思を尊重し、本人にとって家族同然のペットの世話をあんしんサービスで行い、本人の生きがいをサポートし続けた				

(1701)介護予防支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲												
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護予防支援	予防ケアマネジメント	第1層(全市)												
収入(円)	介護保険				計												
	1,707,780				1,707,780												
支出(円)	拠点区分繰出	階層区分繰出	当期資金収支差額		計												
	1,112,000	562,000	33,780		1,707,780												
事業概要	介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業に基づく予防ケアマネジメントの実施																
事業報告	●介護予防件数実績 <table><tr><td></td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>介護予防支援</td><td>285</td><td>193</td></tr><tr><td>介護予防ケアマネジメント</td><td>95</td><td>66</td></tr><tr><td>＊初回加算</td><td>13</td><td>12</td></tr></table> ・委託費 1件4,380円 初回加算 1件3,000円 ●新任ケアマネジャー研修会 令和5年5月15日(月)13:30～16:00 1名参加						令和5年度	令和4年度	介護予防支援	285	193	介護予防ケアマネジメント	95	66	＊初回加算	13	12
		令和5年度	令和4年度														
介護予防支援	285	193															
介護予防ケアマネジメント	95	66															
＊初回加算	13	12															
R5振り返り	新規委託件数が増加し、対応件数が増え、年間収入は増加した。1件ごとの対応時間は介護給付とは変わらないが、委託費が介護給付より低いため事業所全体での収入は減少につながった。																

(1702)介護給付事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	介護給付	介護給付	第1層(全市)
収入(円)	市補助金収入	介護保険	階層区分収入	過年度収入	長期前払費用返還金
	29,000	19,991,520	562,000	36,920	120,670
					計
					20,740,110
支出(円)	人件費	事業費	事務費	器具備品費支出	退職積立金
	16,954,000	1,911,009	181,564	40,000	796,000
	拠点区分繰入支出	当期資金収支差額			計
	807,537	50,000			20,740,110
事業概要	介護保険法に基づき、利用者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の選択に基づき、適切な居宅介護支援サービスを提供する				
事業報告	●介護保険計画作成数 1344件(前年比 -62件) ・要介護1～2／987件(前年比 +31) * 居宅介護支援費10,760+特定事業所加算3,090円) ・要介護3～5／357件(前年比 -93) * 居宅介護支援費13,980+特定事業所加算3,090円) ●令和5年度は、専従3名、兼務1名の4名、特定事業所加算(Ⅲ)を算定することができた。 ・24時間連絡体制、毎週ケアマネミーティング開催など ・業務のICT化のため、各職員にタブレットを配置したことで、業務時間の短縮・スピーディな対応が出来るようになった ・代表者会議 毎月1回参加 1名 ・地域ケア個別会議 オンライン 5/17 2名、8/23 3名、事例提供:8/23 ・事例相談会 6/14 2名、9/13 3名、10/19 2名、事例提供:12/13 4名参加 ・新任ケアマネ研修会 5/2 2名、5/15 1名 ・多職種連携研修 11/9 2名、2/27 2名 ・介護支援専門員 課程Ⅰ(8/24～11/14)1名、更新研修 課程Ⅱ(8/21～1/9)1名 ・主任ケアマネ研修 11/16～1/18 1名 ・苦情解決セミナー 11/1 1名、第三者委員 2名 ・奥越ケアマネ連絡会 第1回研修会 5/13 4名 ・奥越ケアマネ連絡会 研修会「適切なケアマネジメント」(自主研修)7/22、8/12、9/9 2名 ・北陸ブロック研究研修・学術大会 11/26 2名 ・難病対策協議会 2/15 ・県集団指導 3/15 1名、日本ケアマネジメント協会 報酬改定研修 3/23 1名 ・BCP策定支援セミナー 1/19 3名、1/22 1名 ・その他 ●奥越ケアマネ連絡会運営委員会 副代表として参画 ●サロン派遣 北山サロン 10/20 2名 認知症サポーター養成講座 中島ひまわりサロン 11/6 1名				
R5振り返り	特定事業所加算算定Ⅲの算定。職員4名体制にて新規利用者の相談にも積極的に対応するなどの企業努力に努めたが、利用者の急激な体調悪化にて、入所・入院・死亡するケースが多かった。また、要介護3～5の割合が低くなり、介護保険収入減につながった。 他の事業所も新規受け入れの余力があるため、なかなか新規ケースが回ってこない。				

(1703)要介護認定調査事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	介護保険サービス事業	介護保険サービス事業	要介護認定調査事業	要介護認定調査	第1層(全市)
収入(円)	介護保険受託	前期末資金残			計
	152,900	12,100			165,000
支出(円)	拠点区分支出				計
	165,000				165,000
事業概要	介護保険法に基づき、要介護認定調査対象者を調査し、市へ調査票を提出する				
事業報告	●介護認定調査件数 47件(前年比－7件)				
		令和5年度	令和4年度		
	在宅 (3,300円)	45	54		
	施設 (2,200円)	2	0		
	計	47	54		
R5振り返り	●認定調査員研修 令和5年5月10日(水)9:30～12:00 参加 2名				
	認定期間が1～4年になり、調査件数は若干減少し、調査月も0～8件とばらつきがあった。利用者の状態悪化に伴い、区分変更するケースもあったが、計画的に調査を実施することができた。調査を機にアセスメントを深め、ケアプラン作成につなげることができた。				

(1801)身体障害者ホームヘルプサービス事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害福祉サービス事業	障害福祉サービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス事業	第1層(全市)
収入(円)	自立支援給付費	利用料	受託事業	過年度修正益	計
	16,430,436	167,060	218,590	1,811	16,817,897
支出(円)	人件費	事業費	事務費	固定資産	退職積立金
	12,024,249	922,713	91,496	90,900	945,728
	拠点区分支出	過年度修正額	当期資金収支差額		計
	2,151,272	41,382	550,157		16,817,897
事業概要	障害者総合支援法に基づく、訪問介護事業(居宅介護サービス、強度行動援護、同行援護、移動支援)				
事業報告					
		令和5年度	令和4年度	令和3年度	
	利用延べ人数	307名	276名	267名	
	延べ訪問総数	2568回	3797回	3038回	
	通院等介護	90回	同行援護	58回	
	移動支援	56回	重度訪問介護	9回	
	ケア会議 51回 ミーティング20回 サービス提供者会議12回				
R5振り返り	感染予防に努めながら、また感染予防対策として事業所に立ち寄らないようにシステムを使い情報の共有に努めた。 昨年に引き続き、親が要介護となり、障害者自身が家事を担う立場となって、自分で出来る事が少しでも増える様支援を行った。 また、障害者自身の健康管理にも対応できるよう、受診介助、食生活の助言等を行った				

(1802)障害者計画・相談事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者計画相談支援	計画相談支援事業	第1層(全市)
収入(円)	市補助金	自立支援給付	障害児給付	認定調査料	計
	29,000	3,559,990	1,113,920	111,930	4,814,840
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立金	拠点区分支出
	2,849,220	467,151	29,650	131,000	104,000
	当期資金収支差額				計
	1,233,819				4,814,840
事業概要	障害児・者の自立した生活を支え、課題解決やサービス利用のケアマネジメントを行う				
事業報告	計画相談支援・障害児相談支援は、12年目。昨年同様に相談支援専門員(兼務者)4名体制で対象者のプラン作成、障害程度区分調査(委託)を行った				
	相談支援給付費				
	[計画作成]	令和5年度	令和4年度	入院時情報加算 1件	
	障害者	62件	49件	モニタリング 3件	
	障害児	21件	22件	初回加算 2件	
	[モニタリング]	令和5年度	令和4年度	認定調査委託22件 (前年度 17件)	
	障害者	161件	153件	単価	
	障害児	39件	29件	1件 5千円～6.9千円	
R5振り返り	コロナ感染症が第5類になり、直接面談しての調査、モニタリングを行った。相談支援専門員の不足から、受任の依頼があっても対応できず、断わらざるを得ないことが増えた。しかし、市内の他事業所も飽和状態にある。当事業所のみでこの問題を解決するのは困難だが、この、しわ寄せが障害児・者本人に行くことを防ぐため、行政とも真剣に話し合いを重ねる必要がある。障害福祉サービスだけでない対応が増えた。				

(1901)障害者相談支援事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者相談支援事業	障害者生活支援センター事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金				計
	4,720,000				4,720,000
支出(円)	人件費	事業費	事務費	退職積立金	計
	4,321,000	99,000	13,000	287,000	4,720,000
事業概要	障害を持つ方が地域で暮らし続けることを目的に適切な相談と支援を行う。また、奥越障害者自立支援協議会の運営に参画し、新たな資源の開発等を行う				
事業報告	●相談 訪問・同行67件、来所相談439件、電話相談275件、関係機関との相談・調整174件、ケア会議 ▶ピアカウンセリング ▶勝山ケース連絡会 月1回(第3水曜日) ▶奥越圏域就労支援連絡会 12回/年 開催 ▶奥越地区障害者自立支援協議会 全体会 2回 運営会議12回 専門部会6回 ▶部会内容 (i)発達障害・教育支援部会 2回 (ii)生活・居住支援部会 2回 (iii)日中活動・就労支援部会 2回 ▶相談支援連絡会 年12回 ▶行動援護サポート ワーキングチーム会議 年5回 ●委託相談支援事業(i)福井県自立支援協議会に参画 「障害者生活支援センター」のパンフレット				
R5振り返り	行政や、他の相談員との情報共有を図るため、毎月連絡会を開催できた。ハローワークとも毎月ケース連絡会を開催。情報の共有ができた。 支援内容は、本人だけではなく家族やその背景なども踏まえながら、表面だけの支援にならないよう考慮し、支援を組み立て、対応することができた。また、支援が終了しても、定期的に連絡することで、切れない関係づくりを提供することを目指したい。				

(1902)障害者社会参加促進事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	障害者福祉サービス事業	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	障害者社会参加促進事業	第1層(全市)
収入(円)	市受託金	参加費収入			計
	300,000	13,500			313,500
支出(円)	事業費				計
	313,500				313,500
事業概要	地域の中で障害を持つ方が生活しやすいように社会参加を促進する事業の展開と、家族や関係機関・地域での障害理解が進み、権利擁護できるように事業を通じて働きかける				
事業報告	・7/8 防災教室 参加者19名(内関係者5名) 講師:勝山市 ・10/21 交通安全みんなで学ぼう 参加者16名(内関係者5名) 講師:勝山警察署 ・12/9 料理教室(ケーキ作り) 参加者27名(内関係者6名) ・たまり場café 毎週2回(月・水)13:00~17:00 98日開催 延べ利用者数129名 ・ITサポート相談 随時対応 ・当事者の会の育成 中途障害者「リラの会」、在宅障害者「ふれあいの部屋」支援 ・障害者生活支援センターホームページの運営管理 http://www.katuyama-sk.jp				
R5振り返り	「たまり場café」の利用者はコロナ禍の影響もあって減少傾向だった。一方で、毎回楽しみに利用される方もおられた。 防災と交通安全を学ぶ場を設けた。また、クリスマス時期には人気のケーキ作りを開催し、それぞれが楽しみをもてた様子であった。				



(2100)勝山市社協成年後見センター「ささえ愛」事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	成年後見事業	勝山市社協 法人後見事業	サポートセンター 「ささえ愛」	第1層(全市)
収入(円)	事業収入	受取利息			計
	1,882,000	60			1,882,060
支出(円)	人件費	事業費	事務費	当期資金収支差額	計
	1,528,107	215,540	15,073	123,340	1,882,060
事業概要	何かしら障害があっても、自分の地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らしていくための相談・支援				
事業報告	●新規受任件数 0件 ●終了件数 1件 現在8件(高齢2件、障害6件) ●相談延件数 6件 ●専門相談件数(司法書士) 延1件 ●運営委員会 2回開催 R5年7/26 R6年3/27 				
R5振り返り	高齢の親、障害の息子さんの2人暮らしで、親御さんの入院により息子さんのショートステイの対応など、親族と相談しながら行った。 在宅で1人暮らしの障害の方が高齢になり、障害サービスを継続できるかの確にきており、会議に同席することが増えた。 日自からの移行ケースの検討				

(2200)社協喫茶経営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	喫茶会計	喫茶会計	喫茶経営	第1層(全市)
収入(円)	売上金	受取利息	前期末資金残		計
	1,896,270	70	499,696		2,396,036
支出(円)	人件費	事業費	事務費		計
	990,289	1,392,097	13,650		2,396,036
事業概要	福祉健康センター「すこやか」利用者や地域住民の憩いの場として、創意工夫を重ね飲食の提供を行い、公益事業として経営の安定を図る				
事業報告	営業時間: 月～金 10:00～15:00→9:30～14:00(年度途中より) [メニューの一例] 営業中の風景 3番入口外看板 カレーライス たまご丼				
R5振り返り	自販機1台増設 「喫茶検討委員会」を開催、「コーヒー」の利用増をねらい、営業時間を30分早めた。 すこやかフェスタにて街頭アンケートを行った。「知ってる」という声をたくさんいただいたが、利用増には至っていない。				

〇〇事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	法人運営	法人運営	法人運営全般	第1層
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他()	介護給付
事業概要					
事業計画					
事業目標					
見込み成果					
課題					
振り返り					

〇〇事業() ()

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
	法人運営	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業		
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他()	介護給付
事業概要					
事業計画					
事業目標					
見込み成果					
課題					